









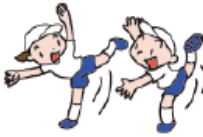
第2学年 表現リズム遊び（リズム遊び）

<p style="text-align: center;">【低学年】</p> <p>軽快なリズムに乗って友達と調子を合わせて即興的に踊ったり、簡単な踊り方を工夫したりします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p style="text-align: center;">【中学年】</p> <p>軽快なリズムに乗って全身で踊ったり、動きに変化を付けて踊ったり、リズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫したりします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p style="text-align: center;">【高学年】</p> <p>踊り方の特徴を捉え、基本的な動きを身に付けてみんなで楽しく踊ったり、練習や発表・交流の仕方を工夫したりします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
---	--	---

1 単元構想

単元 の 目 標	<p>(1)リズム遊びの行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って踊ることができるようにする。</p> <p>(2)リズムの特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったり簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。</p> <p>(3)リズム遊びに進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p>		
単元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>①リズム遊びの行い方について言ったり、実際に動いたりしている。</p> <p>②へそ（体幹部）でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して即興的に踊ることができる。</p> <p>③友達と向かい合い手をつなぎ、スキップしながら回ったり、ねじったり、手を叩き合ったりして即興的に踊ることができる。</p>	<p>①軽快なリズムの特徴を捉えた動きを選んだり、気に入った動きを見付けたり、友達の動きを取り入れたりしている。</p> <p>②へそ（体幹部）を中心に全身で弾んでリズムに乗っている動き、変化のある動きなど、友達のよい動きについて発表しようとしている。</p>	<p>①軽快なリズムに乗って踊ったり、気に入った動きを見付けたりするなど、進んで取り組みようとしている。</p> <p>②誰とでも仲良く活動しようとしている。</p> <p>③場の設定や使った用具の片付けを友達と一緒にしようとしている。</p> <p>④友達とぶつからないように周りの安全に気を付けている。</p>
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
リズムに乗って全身を動かして楽しく踊ったり、友達と一緒に踊る喜びを味わったりして、体を動かす楽しさを感じ、進んで運動に取り組む児童。			
単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方		
軽快なリズムの音楽に乗って踊ったり、友達と様々な動きを見付けて工夫して踊ったりして楽しもう。	軽快なリズムの音楽に乗って踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりする楽しさや喜びとともに、体力の向上につながっていることに着目して、リズムに乗ったいろいろな動きを「する」、教師や友達の動きを「見る」、友達と一緒に踊ったり協力したりして「支える」、体の動かし方を「知る」といった運動との多様な関わり方で楽しむこと。		

2 単元の指導と評価計画

過程	時間	1	2	3		
授業前に準備&チェック! <input type="checkbox"/> リズム太鼓&ばち <input type="checkbox"/> 音楽CD <input type="checkbox"/> CDプレーヤー <input type="checkbox"/> プレーヤー用リモコン <input type="checkbox"/> ピンマイク <input type="checkbox"/> 学習カード <input type="checkbox"/> 掲示物 (動きの例・ポイント) <input type="checkbox"/> タブレット ※必要に応じて <input type="checkbox"/> スクリーン (大型テレビ) <input type="checkbox"/> プロジェクター	導入	0	1 挨拶・準備運動	1 挨拶・準備運動	1 挨拶・準備運動	
	ここをおさえよう! <input type="checkbox"/> 動きのポイント ・全身で動く 跳ぶ・回る・スキップ・移動するなどへそ(体幹部)を中心にリズムに乗る  <input type="checkbox"/> 運動の約束 ・友達の動きのいいところを認めることの大切さを伝える ・弾んで踊っている友達の真似をすることの大切さを伝える ・曲が鳴り始めたら、へそ(体幹部)を上下に動かしたり、体を横に揺すったりするなど体でリズムを表現するようにする。 	展開	5	2 学習のめあてや学習の進め方を確認する。	2 心と体をほぐす運動 ・簡単なフォークダンス ・円になって座って、へそでリズムをとる ・全身じゃんけん ・リズムに合わせてスキップ ・まねっこダンス	
10			3 やってみよう ・だるまさんが〇〇した ・全身じゃんけん ・円形コミュニケーション ・ミラーごっこ	3 本時のめあての確認 曲のリズムに乗って、ノリノリに踊る。		
15				4 曲のリズムを知り、リズムに乗って踊ってみる。 ・円になって教師の動きを真似しながら全員で踊る。 ・どのような動きを踊りの中に入れるといいのか全員で話し合う。 ※いろいろな動きを引き出すために、2時間目と3時間目はそれぞれ違う曲を扱う。 (曲の例) ♪おどるポンポコリン ♪Survival dance	4 曲のリズムを知り、リズムに乗って踊ってみる。	
20				5 曲に合わせて、ペアで踊ってみる。 ・全員で話し合って考え出された動きを選び、繰り返したり組み合わせたりしながら即興的に踊る。 ・大きく2つのグループに分けて、お互いの踊りをタブレットに撮影して、動きを確認する。	5 曲に合わせて、ペアで踊ってみる。	
25			4 踊ってみよう ・曲に合わせて、教師の真似をしながらリズムに乗って踊る。			
実態をチェック! ここで児童一人一人の実態をつかみます。リズムに乗って踊ることができる子や踊ることが苦手な子を把握して、次時の指導に役立ちます。動画を撮影しておくことで、学習の前後での成長の様子も分かります。	終末	30	5 本時のまとめ ・学習カードの記入 ・振り返り ・次時の課題の確認	6 本時のまとめ ・学習カードの記入 ・振り返り ・次時の課題の確認		
		35		6 整理運動、片付け、挨拶	7 整理運動、片付け、挨拶	7 整理運動、片付け、挨拶
		40				
評価の重点	知 思 態	45			① (観察・カード)	
					① (観察・カード)	
			③④ (観察)	① (観察・カード)		

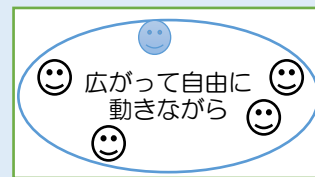
単元構成の意図

表現リズム遊びの表現遊びとリズム遊びを分けた計画を作成していますが、2つを同時に指導する計画を作成する場合があります。今回は、リズム遊び単独の指導計画を作成しています。

4	5
1 挨拶・準備運動	1 挨拶・準備運動
2 心と体をほぐす運動 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なフォークダンス ・円になって座って、へそでリズムをとる ・全身じゃんけん ・リズムに合わせてスキップ ・まねっこダンス 	
3 本時のめあての確認 これまでの曲から選んで友達と一緒に踊る。	3 本時のめあての確認 ノリノリリズムパーティーを開く。
4 これまでの動きを生かして踊ってみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・円になり、教師と一緒に全員で踊る。 ・前時までの使用した曲から1曲選び、踊ってみる。 	4 ノリノリリズムパーティーに向けて踊ってみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・円になって一度全員で踊る。
5 曲に合わせてペアで踊ってみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の良い動きや例示されている動きを組み合わせたりして、よりノリノリな動きになるように工夫する。 ・2曲を交互に流すことで、踊る時間と考える時間を分けながら活動する。 ・大きく2つのグループに分けて、お互いの踊りをタブレットに撮影して、動きを確認する。 	5 ノリノリリズムパーティーをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・2つのグループに分けて踊りを見せ合う。 ・踊りを観ているグループは手拍子やかけ声、拍手などで場を盛り上げて楽しい雰囲気のを会にする。 ・全員で踊った後、感想を交流する。
6 本時のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの記入 ・振り返り ・次時の課題の確認 	6 本時のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの記入 ・振り返り
7 整理運動、片付け、挨拶	7 整理運動、片付け、挨拶
③ (観察)	② (観察)
② (発表・カード)	
	② (観察)

心と体をほぐす運動の活動場所の例

- ・全身じゃんけん
- ・まねっこダンス



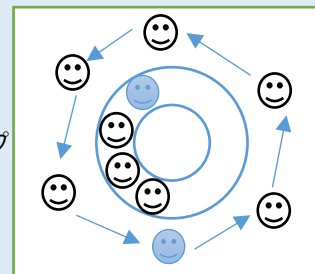
- ・円になって手をつないで座る。

※教師も児童と一緒に円に入っていく。

- ・リズムに合わせてスキップ

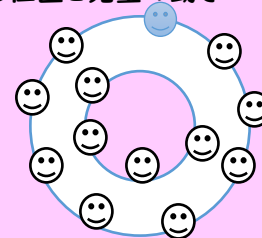
※反時計回り（時計回り）

広がったり、狭まったりなど全体の動きを変える。



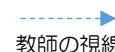
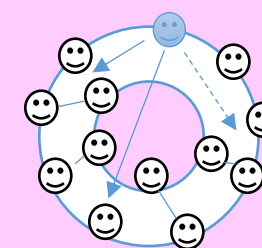
主運動における教師の立ち位置と児童の動き

- ・教師と一緒に踊る場合
- ※リズムに乗って踊っている児童を内側に集めると、苦手の児童は動きを見て真似ができる。



- ・ペアで動きを付けながら即興的に踊る場合

※内側の児童と外側の児童が向き合い、教師は全体が見える位置に立ち、移動しながらアドバイスを伝える。



運動の日常化・習慣化につなげるしかけ




単元に入る前や途中に様々なダンスの映像を見せたり、音楽をかけたりすることで運動への興味関心を広げ、運動の日常化につながります。

また、今回の単元で身に付いた動きを他の領域の準備運動などに取り入れることで継続して取り組むこともできます。

他にも、音楽の授業で取り扱った曲を取り入れると、リズムを言葉や体で表現したり、曲想に合った動きを見つけたりすることにもつながります。

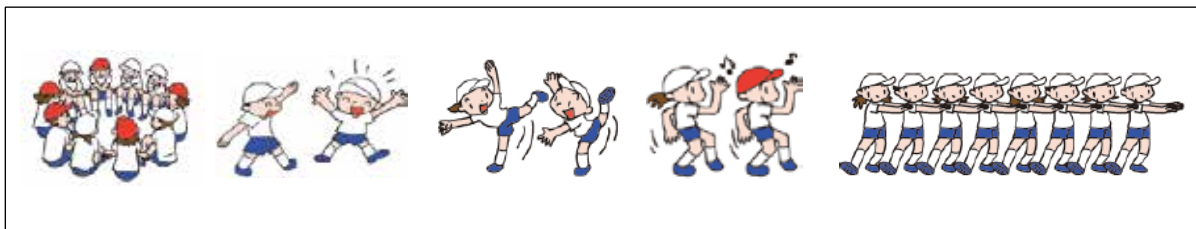


3 1時間の展開例（本時3／5）

過程	時間	学習活動（◇予想される児童の発言）
導入	10分	<p>1 挨拶・準備運動</p> <p>① 準備運動をする。 ② 挨拶をする。</p> <p>2 心と体をほぐす運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なフォークダンス ・全身じゃんけん ・リズムに合わせてスキップ ・まねっこダンス <p>◇ 曲に合わせて動くって楽しいな。 ◇ 友達はいろいろな動きをするからおもしろいな。</p> 
展開	25分	<p>3 本時のめあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて】ノリノリに踊るためのポイントを見付けよう。</p> </div> <p>4 曲のリズムを知り，リズムに乗って踊る。</p> <p>① 円になって教師の動きを真似して踊ってみる。 ◇ この曲聞いたことがあるよ。 ◇ 踊っていたら楽しくなってきた。 ◇ この動きは少し難しいなあ。</p> <p>② どんな動きをするとノリノリに踊れるのか全員で話し合う。 ◇ 回転したり，ジャンプしたりしたいな。 ◇ 腕をしっかりと伸ばすといいかもしれないな。 ◇ 最初は，手拍子もいいかも。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> <p>【動きを見る視点】</p> <p>①手や腕の動き ②体(へそ)の動き ③膝の動き</p> </div> <p>5 曲に合わせて，ペアで踊る。</p> <p>① 全員の話し合いで出た動きを意識して繰り返して踊ってみる。 ◇ 友達のこの動きはいいなあ。 ◇ 友達の動きを真似して踊ってみたいな。 ◇ 友達と一緒に踊ると楽しいな。 ② お互いの動きをタブレットで撮影する。 ◇ どうしてこんなにノリノリに踊れるのかな。 ③ 今日の学習で考えた踊りを曲に合わせて全員で踊ってみる。</p> <div style="border: 2px dotted black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】</p> <p>体をどのように動かすとノリノリに踊れるのか見付けようとしている。</p> </div> 
終末	10分	<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>今日の学習のまとめと振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】 ノリノリに踊るためには，全身を使って大きく動かすことが大切である。 ノリノリに踊るためには，へそ（体の中心）をしっかりと動かすことが大切である。</p> </div> <p>◇ 元気よく踊るポイントがわかりました。 ◇ 次は，もう少し体をしっかりと動かして踊ってみようと思います。</p> <p>7 挨拶をする。</p> 

指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)

- 始まる前から音楽を流して、リズム遊びの雰囲気をつくる。
- 心と体をほぐす運動を行う。
(簡単なフォークダンスから入ることで、全員が一定のリズムで同じ動きができる。)



- 曲を聞かせて、手拍子などでリズムを確認する。
- 教師の動きを真似して踊る前に、「回る」「ジャンプ」などの絵カードを黒板に掲示して、動きを可視化し、見通しを持てるようにする。また、児童の良い動きを真似していくことも大切であることを確認する。

【具体的評価規準】 知識・技能

- 軽快に踊るためのポイントが分かっている。(方法：観察・学習カード)

- ペアで動きを確認する時は、向き合って立って話し合うようにして、動きながら話し合うことができるようする。
- タブレットの撮影は、児童同士で行うと撮影後すぐに確認し合うことができるが、機器の操作が困難な場合は、教師が撮影し、全体で確認できるようにするなど工夫する。

【具体的評価規準】 思考・判断・表現

- リズムに合った動きを選んだり、友達の踊りを見て気に入った動きを見付けたりしている。
(方法：発表・学習カード)

【到達していない児童への手立て】

友達や教師の真似をしながら、かけ声や手拍子を入れて踊るようにする。

- リズムに合わせてスキップをするなど、基本的な動きを「まねっこダンス」の中に取り入れて、動きのきっかけをつかませる。
- 学習カードや板書をもとに今日の学びのまとめを行う。
 - ・学習カードをもとに発表させ、学んだことを黒板にまとめる。
- 今日のふりかえりを行う。
 - ・学習カードに記入する。
 - ・友達のよい動きや、よい言動を認め合えるような言葉がけをする。
 - ・発表し、クラスで共有し合う。
- 次時は、自分で曲を選び、楽しく踊っていくことを伝える。

【板書例】

めあて ノリノリにおどるポイントを見付けよう

こんな動きを入れて踊ってみよう



おしりをふる



両足で回る



手(うで)を上下にふる

【まとめ】
ノリノリにおどるためには、へそ(体の中心)をしっかりとうごかすことが大切
ノリノリにおどるためには、全身を使って大きく動かすことが大切



歩く・スキップ



片足で回る



ジャンプ・しゃがむ

【ふりかえり】
・へそをしっかりとうごかしたい
・OOさんのうごきがじょうずだった。

4 単元の指導のポイント

(1) 心と体をほぐす運動例

①円になって座って、へそでリズムをとる。



首を上げたり下げたりしてみよう。
後半は立ち上がって手をつなぎながら全身を使って動いてみよう。

広がったり、近づいたりできるし、左右にも動いてみよう。
ジャンプもして高低差をつけよう。

②全身じゃんけん



全身を使ってじゃんけんしよう。
移動するときもいろいろな動きができるようにペアでしたり、グループでしたり工夫しよう。

③まねっこダンス



ペアを組んで、友達の動きを真似してみよう。
ジャンプしたり、回ったりといろいろな動きをしよう。

④リズムに合わせてスキップ



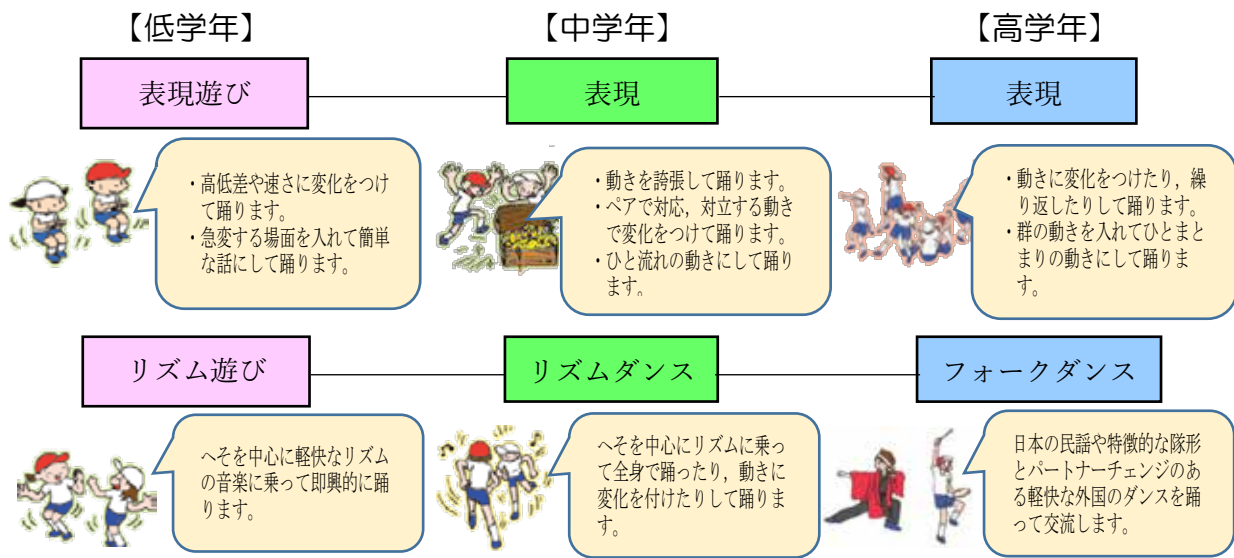
音楽や太鼓のリズムに合わせてスキップをしよう。
教師を先頭にしたり、渦巻き状に回ったりと工夫しよう。

⑤簡単なフォークダンス



「ジェンカ」「キンダーポルカ」「タタロチカ」など易しいステップの繰り返しで構成されるものをやってみよう。

(2) 運動の系統



(3) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた活動の例

○運動の行い方を知る場面



(教師の発問)

ノリノリにリズムに乗って踊るには、どのような動きを入れるといいでしょう。



先生や踊りが上手な友達
の真似をしてみよう。



同じ場所にいるのではなく
て、移動したらいいのかな。



ジャンプしたり、手を上下に
動かしたりしてみよう。



(教師の発問)

踊ってみて、体をどのように動かすとノリノリに踊っているように見え
そうですか。

スキップしたり、回っ
たりしてへそを動かす
とよさそうです。

腕を上下に大きく動かすと
ノリノリに踊っているよう
に見えました。

弾むようにして移動するこ
とも大切だと思いました。



【ノリノリに踊るポイント】

- ・へそ（体幹部）を大きく動かす。
- ・同じ場所で踊らず、移動しながら踊る。
- ・腕、肩、指先まで意識して動かす。
- ・膝を曲げたり、伸ばしてジャンプしたりする。
- ・友達や教師と一緒に踊ったり、真似をして踊ったりする。

個に応じた学びの支援として ICT 端末やイラストカードを活用する。

- ・上手に踊っている児童を教師が撮影し、撮影した動画を使い、体のどの部分がよく動いているのか確認する。
- ・よいモデルになりそうな動画を使用して、全体で見合ったり、児童の端末に送って何度も視聴できるようにしたりすることでポイントを見付ける。

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた活動の例

○自分の課題を見付ける場面

どんな動きをしているのかな。

友達の動きを真似すると自分の踊りが変わりそうだな。
〇〇さんの動きはおもしろいな
私も真似してみよう。

自分の動きを客観的に捉え、課題を見付けるツールとして ICT 端末を活用する。

- ・カメラの遅延再生機能を使う。
※20～30秒後に再生されるように設定する。
- ・教師が全体的に撮影することで、場所を移動しながら踊っているのかを確認することができる。

踊る場所も移動するようになったかな。

最初と比べて動きが変わったかな。

○課題解決に向けて共同的な学びを行う場面

同じ場所でずっと踊っているね。

跳んだり、手を動かしたりしているけど動きが小さいかな。

移動しながら踊ることができるようになってきたよ。

弾んだり、手を大きく上下に動かしたりしたからノリノリに動いて見えるね。

お互いの動きを見合い、ポイントを伝え合うためのツールとして ICT 端末等を活用する。

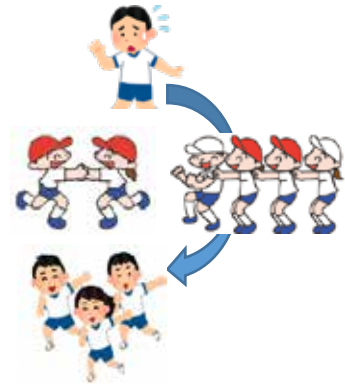
- ・ペアでお互いの動きを動画撮影する。
- ・お互いの動きについて撮影した動画を見て、気付きを出し合いながら動きに変化を付けていく。
- ・授業（単元）の最後にお互いに再度動画を撮影し、最初と比べて踊り方に変化が出たのか確認する。

(4) 運動が苦手な児童への配慮

リズム遊びでは、リズムに乗って踊ることが苦手だったり、友達と関わり合いながら踊ることが苦手だったりする児童が出てきます。そのような児童に何も配慮を行わなかった場合、踊ることに対する苦手意識が強くなり、運動を嫌いになる可能性があります。そこで、児童のこれまでの運動・生活経験や発達段階等の実態把握をしっかりと行い、心身を十分にほぐしたり、楽しい雰囲気で行ったりするなど、個に応じた丁寧な指導が大切です。

①リズムに乗って踊ることが難しいと感じる場合

- (例) 教師と一緒にリズムに合わせてスキップで弾む。
- (例) 教師や友達のかけ声や手拍子を入れて踊る。
- (例) 心と体をほぐす運動の時間を十分に確保して、その運動の中に基本的な動きを取り入れる。



②友達と関わって踊ることが苦手と感じる場合

- (例) 教師を含めた数人で手をつなぎ、簡単な動きで弾んだり、回ったり、移動したりして一緒に踊る。



③リズムに乗って踊ることに意欲的でない場合

- (例) 児童にとって身近で関心があり、自然に体を弾ませたくなるような曲を選ぶ。



- ♩=130~140 の曲の例** (ダンス系の曲は多く出ていますので、いろいろ曲を聞いて選んでみるといいでしょう)
- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> U. S. A (DA PUMP) | <input type="checkbox"/> Survival dance (TRF) |
| <input type="checkbox"/> おどるポンポコリン (B. B. クイーンズ) | <input type="checkbox"/> SHAKE (SMAP) |
| <input type="checkbox"/> 紅蓮華 (LiSA) | <input type="checkbox"/> くまもとサプライズ! |
| <input type="checkbox"/> ヒカレ (ゆず) | <input type="checkbox"/> イエスタデイ (Official 髭男dism) |
| <input type="checkbox"/> にんじやりばんばん (きやりーぱみゅぱみゅ) | |

(例) 動きの組み合わせを引き出す言葉がけ



- | | |
|-------------------|---------------|
| 「おへそを左右(前後)に動かして」 | 「いろんな方向に回って」 |
| 「両手を大きく動かして」 | 「指先まで動かそう」 |
| 「手や肩を大きく揺らそう」 | 「前や後ろに方向を変えて」 |
| 「膝を曲げて伸ばして」 | 「その動きおもしろいよ」 |
| 「〇〇さんにしかできない動きだ」 | 「腰を大きく振ってみて」 |

(例) 動きのよさを見付ける言葉がけ

- 「友達の真似をして踊ってみよう。向かい合ったり、横に並んだりして踊ろう。」
 「〇〇さんの動きをみんなで真似してみよう。〇〇さんを真ん中に円になろう。」
 「友達は、体のどの部分をよく動かしていたかな。手足かな。肩かな。へそかな。」



